

活 用 事 例	新潟県長岡市立脇野町小学校	水谷徹平教諭
活用事例タイトル	月の満ち欠けの仕組みを考える	
対象授業科目/活動	理科	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	1. 目的 月の形の見え方と太陽と月の位置に、どのような関係があるかについて推論する。 2. 実施時期 平成 27 年 9 月 3. 対 象 6 年生児童 (2 4 名) 4. I C T 使用の局面 月の形の見え方が変わることを映像資料で確認し、考える根拠が個別の経験からだけでなくするようにする。モデルを使った子どもからの説明では、モデルの地球上から定点カメラのライブ映像を提示する。 モデル実験で検証する際、学級の子ども全員が共通の視点、共通の情報を基にした話し合いができるようモデルの地球上から定点カメラのライブ映像を提示する。	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	ICT の活用によって、時間帯や経過なども含めた実際には行うことが難しい実験・観察を補うことと、学級の子ども全員が共通の情報を基にした話し合いができるようにすることを支援する。具体物、半具体物、抽象的な概念を行き来することで、子どもの思考や理解が深まることを期待する	
評価、振り返り(活動の評判や児童・生徒の声など)	市の ICT 活用実践講座で授業公開した単元で、天体の表面の様子や時間経過を縮めた月の動き、全員で共通の視点を共有するといった、直接観察することが難しい事柄について ICT を活用することで効果的に補完できることが議論された。	